

(株) ケアビジネスパートナーズ の原田です。

「家族をケアする人に対するこのような取り組み、もっともっと拡がっていけばいいのにな」そんな想いにさせてくれた記事を目にしました^^

ご関心をお持ちの方は是非、ご参照下さいませ。

介護家族に息抜きエステ 愛知・春日井で NPO と企業が無料提供

<http://www.chunichi.co.jp/article/living/life/CK2018051602000002.html>

では、本日のメルマガに入らせていただきます。

■■人財育成に対するちょっとした、でも、意外に重要な視点。

●先日、北海道地区の介護経営者 (A 社長) と人財育成について意見交換させていただいた時の事。「ちょっとした工夫かもしれないけれど、でも実は、とても重要な視点なのかもしれないなあ」と感じる話をうかがう機会がありました。

●A 社長からうかがったこの内容、ひょっとすると本メルマガの読者の皆様にも何らかの“気付き”をご提供出来るかもしれない？という想いのもと、今日は是非、A 社長の言葉を皆様にも共有させていただきたく思います。「肩書・役職名に魂を込める」という話についてです。

●話の流れの中、私の口から“生活相談員”という言葉がふと出てきた時の事。一瞬顔をしかめながら、A 社長は次のような言葉をボソッと呟かれました「その名前、前からどうもしくくりこないんですよねえ」。、、、

●発言の意図が今一つ掴めず、一瞬間を置いた後、「今の言葉、どういう意味なのでしょうか？」と尋ねた私。その後、首を傾げる私に対し、A 社長は笑顔を浮かべながら、次のような説明をして下さいました。

●「いえ、勿論、“生活相談員”という言葉が、いい、とか、悪い、という話では全くないですよ。その上で、あくまで私個人の感覚の話として聞いていただきたいのですが、“生活相談員”って事業所の中でとても重要な役割を担っているじゃないですか」

●「にも関わらず、この“生活相談員”という肩書 (役職) がそれだけの重責を担っている人間に対する相応しい呼称かどうか。と問われれば、どうしても私にはそうは思えないんです。繰り返しになりますが、あくまで私個人の感覚の話として、ですけどね」

●「そこで、実際に相談員業務を行ってくれているメンバーとも相談したんです、“自らの役割を今以上に適切に言い表すことが出来て、自身の業務に誇りが持てるような呼称は何

か無いか？”って。その結果、ああでもない、こうでもない、と二人で相談して辿り着いたのが、“QOLデザイナー”という表現だったんです。その後、名刺の肩書（役職）も直ぐに“QOLデザイナー（生活相談員）”に変更しました」

●「そうやって自らの肩書（役職）を変え、外部に対して“QOLデザイナー”と何度も何度も口に出して説明することで、心なしか、仕事に対する彼自身のスタンスやモチベーションにもプラスの変化が生じてきているような気がするんですよね。小さい事かもしれないですけど、でも、こういう”セルフイメージ”って、凄く大事な気がするんですよね。。」

●さて、上記A社長の発言、皆様はどのように感じられましたでしょうか？“名は体を表す”少しでも心に引っ掛かりを感じていただけた方は、一度、同様の視点で自社の全ての呼称を点検してみても悪くないかもしれませんね（手前味噌ながら、弊社がケアビジネス“コンサルティング”ではなく、ケアビジネス“パートナーズ”という社名に想いをこめたように^^）

以上、何かのお役に立てれば幸いです。

皆様は今日、どんな1日を過ごされるのでしょうか？

では、今日も互いに頑張ってまいりましょう！

今朝もお付き合いただき、ありがとうございました。

◆運営会社：株式会社ケアビジネスパートナーズ

〒105-0012

東京都港区芝大門 1-10-11 芝大門センタービル 10 階

メール:contact@carebp.com

URL : <http://carebp.com>

TEL :03-6880-9097

FAX : 050-3588-6129

～（株）ケアビジネスパートナーズ経営理念～

介護市場の健全な発展に力を尽くすことを通じ、豊かな高齢社会の実現に貢献します。

医療介護特化社労士の竹馬社会保険事務所です。

介護職員処遇改善加算金 I 取得及びキャリアパス人事制度を施設に導入し、職員処遇改善を考えたい方は、是非相談ください。